

さらなるごみ減量・資源化の促進にむけて

ごみ処理基本計画の改定

ごみの減量や資源化をさらに進め、舞鶴の環境をより良いかたちで次の世代に継承していくため、舞鶴市廃棄物減量等推進審議会から受けた答申をもとに、舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を改定しました。

基本理念

地域のみんで3R

～誰もが住みやすい
持続可能なまち舞鶴～



基本方針 1

3Rの推進

市民 事業者 行政

- 食品ロスの削減
- プラスチックごみの減量・資源化・適正排出
- リユース（再使用）の取り組み
- 紙ごみの減量・資源化
- その他の取り組み

基本方針 2

住み続けられる 持続可能な地域

- ライフスタイルの変化や高齢化への対応
- ごみの適正処理
- 公平な受益者負担の実現

基本方針 3

市民・事業者・行政が 連携・協力して取り組む

- ごみのことを知る・学ぶ
- 連携・協力と役割分担
- コミュニティの維持・活性化

【SDGs未来都市としてのごみ処理基本計画】



- ・この計画は平成27年に国連総会において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を意識した計画としています。
- ・SDGsの17の目標に対しては、本計画の基本方針と関わりの深い施策を通じて、全体の目標達成を目指します。

まだまだできるごみ減量の取り組み

買い物前の確認で 買いすぎ防止



買い物前に冷蔵庫の中身を確認。
必要な分だけ買おう。

2つの“期限”を正しく理解しよう

消費期限

安心して食べることができる期限
→期限を過ぎたら
食べないほうがいい

賞味期限

美味しく食べられる期限
→期限を過ぎても
すぐ食べられなくなる
わけではない

まだ食べられるものを捨てていませんか？
期限を正しく理解し、買ったものは使い切ろう。

食品ロスを減らそう

3キリ（食べきり、使い切り、水切り）をしよう



食べきり
食べられる量を
作りましょう

使い切り
食材は
使い切り
しましょう
生ごみはできるだけ
めらさず、捨てる前に
しっかり水切りしましょう



分別の推進

混ぜればごみ、分ければ資源



資源となるものはしっかり分別して、
ごみ減量となるリサイクルに取り組もう。

リユース（再使用）をしよう

不要品、欲しい人がいませんか？



自分にとっては不要でも、誰かが必要と
しているかも。フリーマーケットやバザー
を利用して必要な人に使ってもらおう。

修理や リメイクで 長く使おう



壊れても
そのまま
捨てるのではなく、
修理してできるだけ長く使おう。

10年後
の
目標

1人1日あたり
50グラムの
ごみを減量

令和元年度
【現状】
884g

【1人1日あたりごみ量】



10年間で50g、6%減量

令和12年度
【目標】
834g